

不当解雇を撤回し
安全・安心のJALを

JAL不当解雇撤回ニュース

No 011号 2011.03.30
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.phenix.or.jp/jkkk/>

JALは10万を超える署名に真摯に答えよ!!

3月29日、JAL 不当解雇撤回国民共闘は日本航空への要請行動を実施し、日本航空社長宛の不当解雇撤回署名 **10万912筆** (累計) と各団体から寄せられた解雇撤回の要請書を提出しました。

JALの受付に近づくことさえ拒む不当な会社姿勢

日航本社前に集合した要請団は日本航空に要請文と署名



名を渡すべく本社ビルに立ち入ろうとしたが、日本航空のビル管理子会社 JALサンライトの社員2名が、「署名をここ(玄関先)

で受け取るよう日本航空から言われている」と立ち入りすら拒否をしました。

不当な対応に厳重に抗議、解雇撤回署名は提出

要請団として不当な対応に再三の抗議を行いました。立ち入りを拒否する日本航空の姿勢は変わらず、やむなく要請団は応対した先述の社員に対し、要請文と、署名を必ず大



当日提出した署名は台車2台分に

西社長に手渡すことを申し添え署名と要請書を提出しました。要請行動では、自由法曹団の菊池団長、婦団連の伍副会長をはじめ、全労連の井上さん、東京地評の菊池さん等、各団体の代表が一言ずつ発言、不当解雇撤回の申し入れを行いました。

会長は発言通り、原告団と誠意を持って話すこと

要請行動当日、原告団からは、稲盛会長発言をふまえて、面談要求と質問状を提出しました。

面談の要求は、稲盛会長の「(整理解雇については) 申し訳ない気持ちでいっぱい (訴訟になっても) 誠意を持っ



署名等を提出する山口原告団団長

て話をしたい」と言う1月19日の記者会見発言を踏まえての要求。この発言を守り、会長自身が原告団と直接対話をするよう求めています。

また、質問状は、2月8日の「整理解雇は経営上必要なかった。しかし、金融機関はそれ(整理解雇)を前提として認めた」という稲盛会長発言と、3月9日の「金融機関から(整理解雇をしろという) 要望をお聞きしたことはありません」という支援機構常務兼 JAL 副社長の水留氏の国会発言との矛盾について質すとともに、165名の解雇理由を、改めて問いたすものです。

署名への協力ありがとうございました JAL 解雇撤回裁判原告団

3月29日の要請行動で提出した署名等は、以下の通りです。

不当解雇撤回署名

JAL 社長宛: **75,912筆** (累計 **100,912筆**)

支援機構宛: **36,803筆** (累計 **61,546筆**)

各団体からの不当解雇の撤回を求める要請書

日本航空宛: **42団体**

支援機構宛: **44団体**

全国より、多くの署名や要請書を頂き大変心強く思うと同時に、大変感謝しております。署名は毎月15日集計で引き続き実施中です。原告団一同、現職復帰を目指し頑張ります。引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。